

コガラ

(2005年2月26日撮影)

スズメよりもややちい小さく、かわいらしい感じのかん小鳥です。頭あたまだけが黒い色なので、その様子ようすが「ベレー帽ぼうをかぶっているみたい」と表現ひょうげんされます。

秋あきのうちに木きの幹みきなどに木きの実みを貯めておいて、木きの実みが少なくなる冬ふゆに備えておき、後あとでゆっくり食たべるといふ、貯金ちょぎん好きな鳥すです。

シジュウカラやヤマガラなど、他ほかの種しゅるい類とりの鳥いっしょと一緒にいることが多く、このように別々べつべつの種しゅるい類いっしょで一緒に群れむを作つくることを「混群こんぐん」といいます。

群れむの中なかにいれば、たくさんなかまの仲間がみんなでお互たがいの周まわりに注ちゅうい意あし合あって、もし敵てきが近ちかづいてきても1羽いちわでいる場合ばあいより早はやく危きけん険きに気づくことができます。

鳥とりも互たがい、みんなたすで助あけ合せいって生活かつしています。

○よく会える時期：1年中

○よく会える場所：やすらぎの森、芳の平など

